



2013
月刊推進技術 1月号
トピックスのページ (P67) に
掲載されました。

Topics

雨水集水ます浸透工法 (EGSM工法) が
多摩ブルー賞優秀賞の栄冠に輝く

全国非開削普及協議会 (賛助
会員、会長: 岡本州雄スピーダ
ーレンタル代表取締役社長) の保有
技術である雨水集水ます浸透工
法 (EGSM工法) を開発したス
ピーダーレンタル (岡本州雄代
表取締役社長) が、多摩信用金庫
 (本店: 東京都立川市、理事長:
佐藤浩二) の主催する「第10回
多摩ブルー・グリーン賞」で多摩
ブルー賞の優秀賞を受賞し、12
月18日パレスホテル立川 (東京
都立川市) において表彰式が執
り行われた。

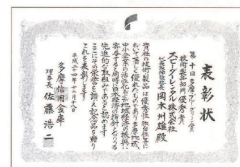
多摩信用金が主催する「多摩
ブルー・グリーン賞」とは、多摩地
域の中小企業の活性化と地域経済
の振興に寄与することを目的に、
技術・製品を評価する「技術製品
部門 (多摩ブルー賞)」と経営を
評価する「経営部門 (多摩グリー
ン賞)」の2部門から構成されて
いる。地域で活躍する中小企業
の方々の優れた技術や経営手腕を
評価し、表彰することで、地域企
業による技術開発や経営戦略創造
の活力を生み出し、地域経済がよ
り活性化されることを願い毎年実
施されているものである。

選考方法は、開沼博明早大教
授 (一橋大学名誉教授) を選考委
員長とした学識経験者や主催関係
者など14名で組織された選考委員
会によって、①独自性、革新性②
市場性、収益性③地域性 (地域経
済への波及効果) ④継続性⑤社会
性の5つを選考基準として、第1
次審査 (書類選考)、第2次選考 (プ
レゼンテーション)、最終選考を経
て厳正かつ公正に選考される。



▲ 記念の盾を手に 主催者の佐藤理事長 (左) と受賞した岡本代表取締役 (右)

優秀賞を受賞し
たスピーダーレン
タルの雨水集
水ます浸透工法
 (EGSM工法) は、
既設道路の集水ま
すを活用し、低コ
ストで簡単に浸透
ます化し、雨水の
流出を抑制するこ
とにより浸水被害
の防除に寄与する
工法として評価
され、受賞に至った。その背
景には、都市化の進展に伴い、家
屋やビルなどの建築物や道路のア
スファルト舗装等雨水の浸透域
の減少により豪雨時に内水氾濫に
よる浸水被害が多発していること
がある。また、雨水浸透が減少は
地下水水位の低下や湧水の枯渇、河
川の平常流量が減少等の現象にも
現れている。さらに、近年ではゲ
リラ豪雨と呼ばれる集中豪雨が各
地で報告され、それによる浸水被害



▲ 多摩ブルー賞優秀賞の表彰状

が頻発するなど、その対策は喫緊
の課題となっている。これらの課
題に対する有効な手法として雨水
集水ます浸透工法 (EGSM工法)
が評価されたもの。

施工実績は、開発してから平
成24年9月までの3年間で累計施
工基数が6,300基に達している。
その主な実績は多摩地区における
浸水対策事業や合流式下水道緊急
改善事業などで使用されているこ
となども評価の対象となったものと
思われる。



トピックス

スピーダーレンタル、多摩ブルー賞受賞 「EGSM工法」の開発・普及活動が評価

全国非開削普及協議会の会長会社であるスピー
ダーレンタル (東京都八王子市、岡本州雄社長)
はこのほど、多摩信用金庫 (東京都立川市、佐藤
浩二理事長) 主催の第10回「多摩ブルー・グリー
ン賞」において優秀賞を受賞した。同賞は、東京・
多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興を
図ることを目的に毎年実施されているもの。技術・
製品を評価する「技術・製品部門」 (多摩ブルー賞)
と経営を評価する「経営部門」 (多摩グリーン賞)
の2部門で構成されている。スピーダーレンタル
社は今回、同社らが開発し全国展開を図っている
雨水集水ますを非開削で浸透化させる「EGSM工
法」の技術的内容および普及活動が評価され、
技術・製品部門において、応募総数79件の中から
「多摩ブルー賞 優秀賞」に選ばれた。

東京都心のベッドタウンとして開発されてきた
多摩地域では、都市化の進展に伴う屋根や道路舗
装等の不透透域の増加によって、豪雨時の浸水被害
が多発する傾向にある。またその一方で、浸透域
の減少によって地下水水位の低下や湧水の枯渇
現象も生じている。特に近年では、「ゲリラ豪雨」
が多摩地域でも頻発するようになっており、浸水
被害防除が喫緊の課題となっている。



表彰式のもよう (写真中央右が岡本社長)

受賞した「雨水集水ます浸透工法」 (EGSM
工法) は、既設の道路集水ますを非開削で簡単に
浸透ます化して、雨水の流出抑制を図ろうという
もの。同工法の施工性や経済性に優れた面が専門
的かつ客観的に評価され、受賞に至った。

「EGSM工法」では、既設の道路雨水集水ます
の底部を削孔ビットを用いて穿孔し、その下部に
浸透構造体を構築する。道路掘削工は必要としない。
雨水を効果的に地下浸透させることにより、
雨水の流出を抑制して道路冠水や浸水被害の軽減
を図るほか、合流式下水道における雨天時越流水
の発生低減などにも効果を発揮する。また雨天時
の浸透効果として、地下水の涵養やそれによる街路樹
の育成効果なども期待できるとされている。道路雨
水集水ますだけでなく、既存の集水ますの浸透
化や浸透機能を失った各種浸透ますの浸透機能復
活にも活用が可能だ。スピーダーレンタル社によ
ると、同工法は、大がかりな機械設備を必要とせ
ずに狭小な場所でも短時間で施工でき、道路浸透
ますの新設と比べコストメリットも大きいという。

2010年4月に国土交通省都市・地域整備局下
水道部および河川局治水課 (ともに当時) より
発行された「雨水浸透施設の整備促進に関する手
引き (案) ~浸透能力の低減を見込んだ効果
の把握及び維持管理の考え方について~」の参考
資料に既設雨水ますの活用例として「EGSM工
法」が掲載されているほか、(公社) 雨水貯留浸透
技術協会の「雨水貯留浸透技術評価認定制度」の
技術評価認定も受けている (2012年4月)。2009
年の開業から約3年、多摩地区での浸水対策事
業や合流式下水道緊急改善事業などを中心に採用
されており、2012年9月末時点で全国で約6,300
基の施工実績を有している。

なお同賞の授賞式は12月18日、東京・立川市の
パレスホテル立川において厳正かつ執り行われた。



2013
月刊下水道 2月号
トピックスのページ (P72) に
掲載されました。